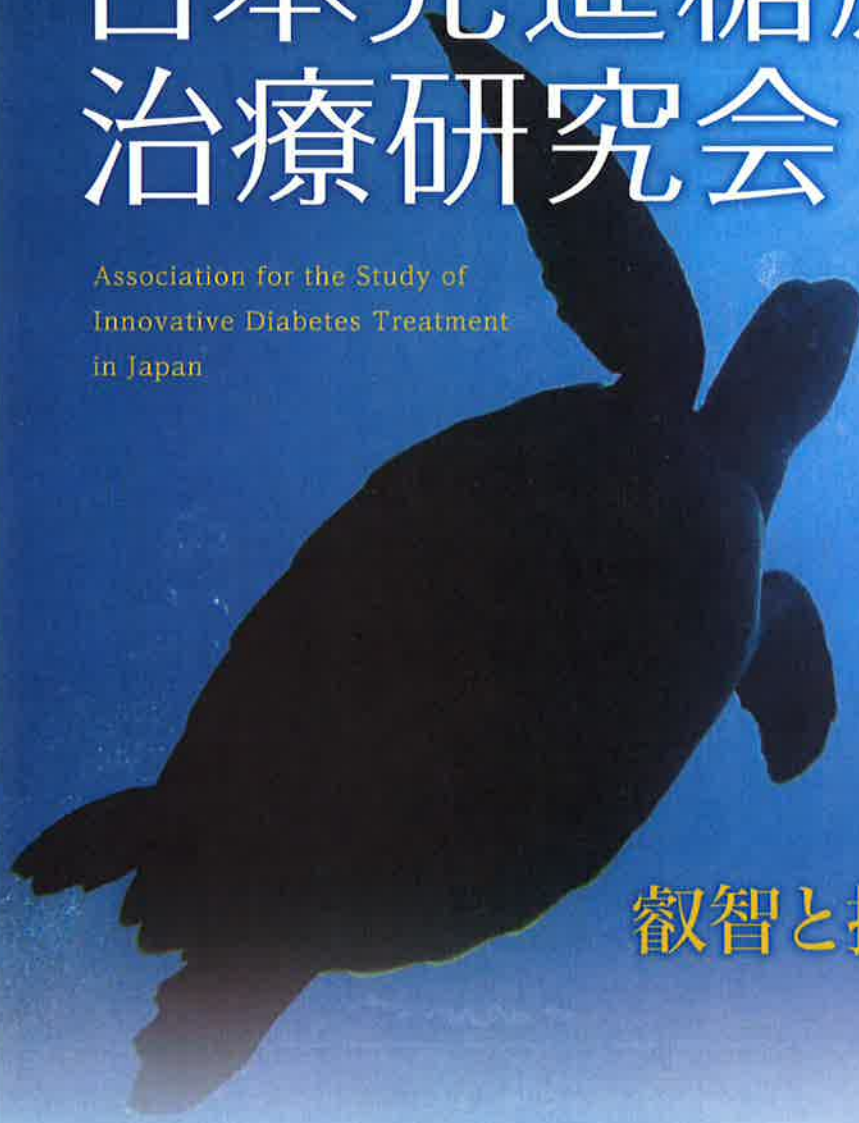


第14回

日本先進糖尿病 治療研究会

Association for the Study of
Innovative Diabetes Treatment
in Japan



叡智と技術と人との融合
～共に目指す先へ～

2014年12月6日(土)

あわぎんホール 〒770-0835 徳島県徳島市藍場町2丁目14番地

<http://www.kyoubun.or.jp/>

●徳島駅より徒歩8分 ●鳴門インターチェンジより車で25分 ●徳島インターチェンジより車で20分
●徳島空港より車で25分、空港連絡バスで25分、徳島駅下車徒歩8分

当
番
世
話
人

松久 宗英

徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター

黒田 暁生

徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター

参加費	医師/メーカー	5,000円
	コメディカル	2,000円
	患者・家族	無 料

募集対象

先進的糖尿病治療に携わっている糖尿病専門医、治療に関心のある医師、糖尿病療養指導士、コメディカルスタッフ、関連企業および先進的糖尿病治療を行っている患者さん。

応募方法

ホームページより応募フォームをダウンロードできます。演題名、氏名、フリガナ、所属、目的、方法、結論を800字以内(図表なし)にまとめて、下記宛先までメールにてお送り下さい。

asindtj@intergroup.co.jp

演題募集締切

2014年8月13日(水) 必着

本研究会は現在[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研究会]として認定を申請しております。本制度により、(第2群)(糖尿病療養指導研究単位)の取得が認められる予定です。

主催：日本先進糖尿病治療研究会 後援：一般社団法人 日本糖尿病学会

<http://asindtj.org>

第14回日本先進糖尿病治療研究会 運営事務局
株式会社インターグループ内
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル

TEL:06-6372-9345
FAX:06-6376-2362
E-mail: secret-2@intergroup.co.jp

プログラム

開会の辞

9:25 ~ 9:30

松久 宗英 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)

基調講演

9:30 ~ 10:00

共催 MSD 株式会社

座長: 小林 哲郎 (公益財団法人 冲中記念成人病研究所)

演者: 後藤 昌史 (東北大学 未来科学技術共同研究センター)

「膵島移植の現状と今後の方向性」

一般演題(1) CSII ①

10:00 ~ 10:40

座長: 雨宮 伸 (埼玉医科大学 小児科)

津田 晶子 (新潟医療生活協同組合 木戸病院 糖尿病内科)

演者: 1 村田 敬 (国立病院機構 京都医療センター 糖尿病センター)

「インスリンポンプ導入初期における持効型インスリンまたは中間型インスリン併用の安全性と有効性の検討」

2 利根 淳仁 (岡山大学病院 糖尿病センター)

「インスリンポンプ療法における基礎インスリン比率適正化に寄与する因子についての検討」

3 峯 佑介 (日本大学病院 小児科)

「小児期発症 1 型糖尿病管理中における DKA と重症低血糖に関する検討 - CSII 使用に関する問題点について」

4 長坂 昌一郎 (自治医科大学 内分泌代謝科)

「我が国での CSII 黎明期に導入された 17 例の長期的経過」

5 井川 貴資 (兵庫医科大学 内科学糖尿病・内分泌・代謝科)

「CSII 導入時 CGM および絶食試験を応用した 17 例の 1 型糖尿病患者の長期経過」

一般演題(2) 食事療法

10:40 ~ 11:12

座長: 鴨井 久司 (小千谷総合病院 糖尿病内分泌代謝センター)

百木 忠久 (医療法人五星会菊名記念病院 糖尿病・内分泌内科)

演者: 1 井上 佳代 (有澤総合病院 栄養科)

「中断歴が多い 2 型糖尿病の中年男性に頻回の糖尿病透析予防指導が有効だった 1 例」

2 多々納 浩 (徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部臨床食管理学分野)

「脂質摂取量の多い食習慣が嗜好性に及ぼす影響についての検討」

3 新谷 哲司 (松山市民病院 内科)

「リラグルチドから新規 GLP1 受容体作動薬リキシセナチドへの切替え効果」

4 鶴尾 美穂 (寺沢病院)

「応用カーボカウント法を用いて減量と血糖コントロールの改善が見られた肥満 2 型糖尿病の 2 例」

一般演題(3) インスリン療法、他

11:15 ~ 11:55

座長：島田 朗（東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科）

平野 勉（昭和大学病院附属東病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

演者：1 西田 昌代（有澤総合病院 看護部）

「他のインスリンデバイスからフレックスタッチ[®]に変更した症例の使用感に関する調査」

2 井上 朱実（ぼらんのひろば井上診療所）

「母子センターとの連携からみえてきた課題」

3 武者 育麻（埼玉医科大学 小児科）

「短期血糖管理指標となる GA/A1C 比は患者別固有値を考慮する」

4 赤須 祥子（久留米大学 内分泌代謝内科）

「1型糖尿病におけるインスリン・グラルギンとインスリン・デグルデクによる血糖日内変動の比較」

5 鴨井 久司（小千谷総合病院 糖尿病内分泌代謝センター）

「2型糖尿病患者の Epalrestat と Sitagliptin および両者の併用剤による心迷走神経障害への効果」

ランチョンセミナー

12:00 ~ 13:00

共催 サノフィ株式会社

座長：難波 光義（兵庫医科大学 内科学 糖尿病・内分泌・代謝科）

演者：村田 敬（国立病院機構 京都医療センター 糖尿病センター）

「先進糖尿病治療とコミュニケーション」

ヤング DM カンファレンス合同シンポジウム

13:00 ~ 14:00

共催 日本イーライリリー株式会社

“～望む治療、進む治療～”（ヤング DM カンファレンスとの合同シンポジウム）

座長：黒田 暁生（徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター）

浦上 達彦（日本大学病院 小児科）

演者：1 坂本 辰蔵（埼玉ヤングの会 East Club、日本糖尿病協会 インスリンケアサポート委員会）

「1型糖尿病患者の社会的自立とコントロールの実態」

2 廣田 勇士（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

「これからの1型糖尿病治療～内科医の立場から～」

3 川村 智行（大阪市立大学大学院 発達小児医学教室）

「小児1型糖尿病治療の現状と課題」

総会、コーヒープレイク

14:00 ~ 14:20

一般演題(4) CSII ②

14:20 ~ 14:44

座長：粟田 卓也（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）

今村 洋一（糖尿病内科 あおぞらクリニック）

演者：1 加藤 研（国立病院機構 大阪医療センター 糖尿病内科）

「インスリンポンプ治療の患者会アンケートから示されるポンプ治療の現状について」

2 播 悠介 (神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

「1型糖尿病患者における外来 CGM の検討～ HbA1c 別、治療法別での比較～」

3 加藤 慶太郎 (神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

「1型糖尿病患者に外来 CGM を複数回施行し1年経過した結果の検討」

一般演題(5) CGM

14:44 ~ 15:08

座長：西村 理明 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

山田 研太郎 (久留米大学 医学部 内分泌代謝内科)

演者：1 澤木 秀明 (有澤総合病院 糖尿病センター)

「ビグアナイド、DPP4 阻害薬で不十分な際の追加薬として、グルベス配合錠[®]が有用であることを CGM で確認できた1例」

2 長江 亮太 (大阪医科大学附属病院 内科学Ⅰ 糖尿病代謝・内分泌内科)

「運転免許の更新に際し CGM が無自覚性低血糖の評価と低血糖の回避に有用であった劇症1型糖尿病の1例」

3 保川 信行 (埼玉医科大学 内分泌糖尿病内科)

「人工膵臓による冠状動脈バイパス術周術期における血糖コントロールは血糖変動と術後の炎症反応を抑制する」

教育講演

15:10 ~ 16:00

共催 日機装株式会社

座長：清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)

演者：花崎 和弘 (高知大学 医学部 外科学講座外科1)

「周術期血糖管理の重要性：人工膵臓の果たす役割を中心に」

特別講演

16:00 ~ 17:00

座長：松久 宗英 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)

演者：Allen B. King (Diabetes Care Center / University of California, USA)

「Current basal insulin dosing and its problems.」

閉会の辞

17:00 ~ 17:05

黒田 暁生 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)

村田 敬 (国立病院機構 京都医療センター 糖尿病センター)

メーカー展示 (あわぎんホール 1F ホワイエ)

出展企業 (五十音順)

●旭化成ファーマ株式会社

●ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

●株式会社トップ

●ニプロ株式会社

●ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

●株式会社三和化学研究所

●テルモ株式会社

●日機装株式会社

●日本メドトロニック株式会社